

# 50th 久米島紬事業協同組合

過去に敬意を払い  
現在皆様へ感謝し  
未来への道標

## 久米島紬事業協同組合創立50周年

久米島紬事業協同組合は昭和45年に設立し、50周年を迎えました。同組合の松元理事長は記念式典のなかで、「過去の先人たちに感謝し、現在は久米島紬を支えてくれる皆様へ感謝し、未来へ継承の道標を」と述べており、「過去・現在・未来」は2月14日から3月1日久米島博物館にて行われた久米島紬展のテーマとなっていました。展示品は伝統的な柄やアレンジした新鮮なデザインもあり大変素晴らしい作品が展示されていました。また、紬フェアでは真謝のユイマール館を開放し、多くの方が来場し賑わいをみせておりました。

## 久米島紬のあゆみ

琉球王国時代、中国との交易の中継地であった久米島に養蚕技術が持ち込まれ、染色織物生産が盛んに行われたのは500年以上も前のことです。緋の源流とも言われ、上質な絹織物である久米島紬は琉球王朝そして江戸時代で買納布として取り扱われていました。明治以降は産業化に成功し、年4万反生産していましたが戦後は年4千反に落ち込み、現在は年300反ほどです。

久米島紬の特徴は真綿づくり、図案、緋づくり、染色、織りの工程を手作業で行うことです。その技術の高さと徹底した品質管理、後継者育成活動が評価され、平成16年には国指定重要無形文化財、重要無形文化財保持団体に認定されています。

## 糸ってどうやってつくるの？



横糸は蚕の繭を重曹でたっぷり煮込み何十枚も重ねて作る



次に、糸引きで糸を引き出しながら均一に束ねていく



縦糸は60度のお湯で煮た繭から数本糸を束ねながら巻いていく



～糸遊び～  
糸を結んでミサンガやタッセルピアスにしても楽しい



創立記念式典 織り手や問屋など81名表彰



久米島紬展の様子



久米島紬フェア 無料着付け体験と散策の様子

## 講演会を開催しました！

### 本間先生を呼ぼうの会

久米島町の中高中生10人が自主的に企画し、2月15日(土)、16日(日)に「次世代の学び」について考える講演会を開催しました。本間正人先生(京都造形芸術大学 副学長)を講師にお招きし、一日目は、「これからの時代、何を学び、どう生きるか」をテーマに、二日目は、「英語の楽しい学び方」をテーマにご講演いただきました。この2日間、本間先生のユーモアあふれるお話と初対面の人でも仲良くなれるグループワークを取り入れた講演会に、参加者からは「(学ぶことに対し)ポジティブな印象が変わった」「また、久米島に呼んでほしい」などという声がありました。第二回の講演会も現在企画中です。ご期待ください！



## さとうきびの恩人に感謝を込めて

### 字大原 坂井さんまつり

坂井了爾さんの命日である2月10日、字大原にてお墓参りならびに供養祭が行われました。坂井さんは明治時代、字大原開墾と久米島の糖業に大きく貢献されました。現在も続いている久米島の糖業は坂井さんの献身的な指導があったからこそといっても過言はありません。JAおきなわ久米島支店の松元支店長は「坂井さんまつりを通して、さとうきび信仰につながっていると感じる。開催できたことをめでたく思う」と述べました。また、久米島製糖(株)松本課長より、「久米島町のさとうきびの糖度は平均を上回る14.9度で県内トップクラス」と報告がありました。



## 税に関する絵はがきコンクール

### 久米島児童5名入賞

2月17日(月)、第11回税に関する絵はがきコンクールに町内児童5名が入賞し、大田町長、吉野教育長へ報告いたしました。今回は126名の応募があった中から11名が入賞し、その内5名が町内児童が入賞しました。入賞内容は下記のとおりです。

北那覇税務署長賞に赤嶺梨寿夢さん(大岳小)、北那覇法人会会長賞に山川大空さん(大岳小)、大田町長賞に長峯彩心さん(清水小)、吉野教育長に高江洲美来さん(久米島小)、久米島支部長に仲与志夢望さん(仲里小)



## 福祉の活性化を願って社協へ寄附

### 県建築士事務所協会、県建築士会

2月27日(木)、沖縄県建築士事務所協会野原会長、佐久川専務理事、沖縄県建築士会伊佐副会長が久米島町社会福祉協議会を訪れ、同会で開催したチャリティーゴルフの収益金から20万円を寄附しました。本チャリティーは「沖縄は長寿県であり、社会福祉への支援は必要」と考え平成20年から始まりこれまで多くの会員から賛同を得て今年で38回目を迎えるそうで、久米島町への寄附は初めてとなります。社会福祉協議会太田会長は「ご寄附ありがとうございます。頂いた寄附金は久米島町の福祉へ活用いたします。」と感謝を述べました。

